



船穂中つれづれ

校 訓

実 自 自
践 律 主

倉敷市立船穂中学校
令和6年12月3日
第22号



～☆学校保健委員会☆～

みんながってみんないい ～多様な性について考えよう～ と銘打って、11月29日、今年度の学校保健委員会が行われました。事前に行った生徒アンケートの結果を保健委員が発表しました。『LGBTQ という言葉を知っていますか?』『心の性は、治療すれば変えられますか』『学校に「だれでもトイレ」が設置されたのを知っていますか』など、簡単なものでしたが、この結果から私は、子どもたちは大人が思っているよりも柔軟に周りを受け入れることができているなど感じました。が、中にはまだまだ知識不足の生徒もいました。今回は、岡山大学大学院教授の中塚幹也先生にお越しいただきました。「男らしさ」「女らしさ」ではなく、「自分らしく」生きることや様々な「性」についてお話しいただきました。



【生徒の感想から】

○今は、人に影響されたり、みんなの目を気にして自分のしたいことや自分らしさを出せなくなっている人がいるかもしれません。個性を認め合い、みんなが自分らしさを出せる社会になったらいいなと思いました。

○LGBTQという言葉はニュースやポスターなどでたくさん耳にしていたのですが、詳しい意味は今日初めて知りました。また男性、女性以外にもたくさんの性があることを知って驚きました。昔から女性、男性への偏見の影響で「女らしい」「男らしい」という考え方がまだあると思いますが、LGBTQ に合わせて社会が変わっていったら、もっと多様性にあふれ、ありのままの自分でいられる人が多くなるのではないかと思います。

○LGBTQとは、性的指向だけでなく、心の性についてもあるということ、性は様々な見方ができ、男と女だけではなく、一人一人違う性を持っていると知りました。また、日本以外の国では、LGBTQ がもっと認められていると思っていましたが、「トイレ法」などがあり、まだまだ差別のある国もあると知り驚きました。



わくわく科学ランド～ボランティアありがとう～

11月30日(土)は、船穂中学校の体育館を会場に、「わくわく科学ランド」が行われました。参加するのは、小学生以下の小さな子どもたちですが、そこに、中学生は、ボランティアスタッフとして参加しました。10月末に公民館から中学校にボランティアの募集がかかると、今年なんと、26名もの生徒が申し込みをしていました。主催者の方々も、中学生のボランティアの多さにとっても喜ばれていました。また、当日は部活動を終えた生徒たちが、呼びかけに応じ、飛び入りで参加し、会場の運営の手伝いや片付けなどをしていました。



誰かのためになる、誰かの役に立つということは、とても素晴らしいことですね。たくさんの船穂中学校の生徒が、この船穂地区の行事に積極的に参加していたことが、とてもうれしいです。主催者の方々からは、「ボランティアの生徒たちの動きがとても良かった!」とお褒めのお言葉をいただきました。来年も、ぜひ多くのボランティアスタッフが出ることを願っています。

